

国際シンポジウム

日中戦争をめぐるジャーナリズムとプロパガンダ

Journalism and Propaganda on the Second Sino-Japanese War

早稲田大学 現代政治経済研究所20世紀メディア研究所

科研費基盤(B)「日中戦争報道をめぐる国際報道と宣伝戦」助成

2018年12月15日(土)

早稲田キャンパス 3号館7階704号室

Opening (9:30 ~9:40) 土屋礼子(早稲田大学)

Session

1

ジャーナリストと日中戦争

9:40~12:00

司会: 鈴木貴宇
討論者: 山本武利

- 島田大輔(立命館大学)
日中戦争前夜における日中新聞人の共鳴と提携
- 太田宇之助(東京朝日新聞)と張季鸞(大公報)
- 土屋礼子(早稲田大学)
日中戦争期のアジアにおける英国の対日宣伝とジャーナリスト
- ピーター・オコーノ(武蔵野大学)
「サパジュ」立場転換: 日中戦争における上海の英字メディアの変化

Session

2

中国におけるプロパガンダの展開

13:00~16:00

司会: 川崎賢子
討論者: 小林聡明

- シェルゾッド・ムミノフ(英国・イーストアングリア大学)
東北アジアでの日ソ対立と日中戦争期におけるソ連の宣伝工作、1931-1945
- 曲揚(早稲田大学)
日中戦争期の華北占領期における日本の宣伝工作
- 『庸報』の文劇関係記事の分析から
- 劉茜(早稲田大学)
『武漢報』にみる中国内陸部における日本軍の宣伝
- 梅村卓(明治学院大学)
『聯合画報』とOWIの対華宣伝

Session

3

戦後

16:10~17:50

司会: 土屋礼子
討論者: 吉田則昭

- 加藤哲郎(一橋大学名誉教授)
731部隊軍医少佐・長友浪男: 戦後厚生省強制不妊手術担当から北海道副知事へ
- 梅森直之(早稲田大学)
ロックフェラー財団と文学者たち: Faulkner at Nagano をめぐって

Closing (17:50 ~18:00) 梅森直之(早稲田大学)

